

回 答 書

四国中央市業務改革(BPR)支援業務に係る企画提案について、照会のありました質問事項に対する回答は、次のとおりです。

質問番号	質問箇所	質問内容	回 答
1	仕様書の3頁9 題名「想定スケジュール」 について	「現状把握・業務の可視化」から「業務改善方針の策定」までの工程について、中間報告書の提出までに2業務、中間報告書提出後に3業務と分けて記載されております。対象業務全てを同じ工程とせず、実施時期を分割した理由などがございましたらご教示ください。	2業務の改善施策を次年度当初予算に要求し、残り3業務は次年度補正予算に要求したいと考えているため、実施時期を分割しています。
2	実施要領の5頁13(2)(イ) 題名「第2次審査の実施」 について	プレゼンテーションの実施についてはオンラインでの実施を想定されていますでしょうか。	オンラインでのプレゼンテーション実施は想定していません。
3	企画提案書作成要領の1頁1 題名「作成にあたっての留意事項」について	提案書の印刷はカラー・モノクロの指定、また、片面印刷/両面印刷の制限はありますでしょうか。	カラー・モノクロの指定はありません。また、片面印刷・両面印刷の制限もありません。
4	仕様書の2頁8(2) 題名「現状把握・業務の可視化」について	①「作成するドキュメントの詳細さを示すサンプルを提示し」とありますが、貴市で想定されているサンプルとは具体的にどのようなものでしょうか。選定される5業務を所管される担当課様に対して、事前にBPRの流れや手法をご理解いただくために資料提示することが要件であるということでしょうか。 ②「詳細さを示すサンプルを提示し」とありますがサンプルを提示する先は本業務発注課様となりますでしょうか。それとも対象業務を選定した担当手続き課様となりますでしょうか。	①サンプルは受託者から提案していただき、協議のうえ決定します。サンプルを提出いただく目的は、仕様書2頁8(3)の実施前に受託者の考え方や提出資料案を確認し調整を図るためです。 ②サンプルの提出先は本業務発注課です。
5	仕様書の3頁8(5) 題名「BPR手法の研修等による意識変革、自走化支援」について	①研修の開催にあたり実施回数は想定されていますでしょうか。 ②研修の開催にあたり想定されている参加者数をご教示ください。また、参加者層(管理職、係長級、一般職員など)の想定はございますでしょうか。 ③研修において、参加者の調整は貴市にてご対応して頂けるのでしょうか。 ④研修の会場については貴市にてご準備頂けるのでしょうか。 ⑤受講環境の整備(PC準備や研修資料の印刷・配布等)は貴市にてご対応いただけるのでしょうか。	①市と受託者が協議のうえ決定します。 ②市と受託者が協議のうえ決定します。 ③市が対応します。 ④市が準備します。 ⑤市が対応します。

6	仕様書の3頁9 題名「想定スケジュール」 について	「実際のスケジュールは、契約締結後に市と受託者が協議して決定」とありますが、時期と業務数は固定でしょうか。例えば、8月上旬から3～5業務の配分とするなどの可能性はあるのでしょうか。プロジェクトを実行するにあたり、必要な体制構築を試算する為に必要な情報としてご教授いただけますと幸いです。	時期は市と受託者が協議のうえ決定しますので、仕様書3頁9に記載の時期から変更となる可能性があります。業務数は5業務から変更できませんが、例（8月上旬から3～5業務の配分とする）のように業務の配分が変更となる可能性があります。
7	仕様書の2頁8(1) 題名「対象業務の選定」 について	①5業務の選定については、四国中央市様が提示した業務のうちから、協議のうえ5業務の選定かと存じますが、協議していくうえで、この5業務の候補として四国中央市様でご提示いただく業務はいくつになりますでしょうか。 ②また、上記の候補となる業務となったものについて、BPRの観点は当然としたうえで、それ以外の要因があればお教えてください。（例：今回の候補部署から要望があった。BPR/DXへの温度感が高く、立候補してきた部署など） ③現時点で候補となっている業務についてBPRに向けたデジタルツールの導入などはされていますでしょうか。されている場合どのようなデジタルツールでしょうか。	①業務の候補は市から提示するのではなく、受託者から提示をお願いします。 ②現時点ではありません。 ③現時点ではありません。
8	仕様書の2頁8(2) 題名「現状把握・業務の可視化」 について	①業務量調査について、PC操作ログ取得ツールなどのツールの利用は、可能でしょうか。	現状把握及び業務の可視化のため、市で運用する資産管理システム等(LanScope Cat)を用いた、PC操作ログを提供することは可能です。 契約締結後に必要な情報及び抽出条件や方法をご提示ください。 なお、資産管理システムで管理する情報はPC名単位での抽出となりますので、市より提供するログを基に受託者で部署単位に振り分けを行ってください。

9	<p>仕様書の3頁8(5) 題名「BPR手法の研修等による意識変革、自走化支援」について</p>	<p>①すでに四国中央市様にてDX・BPRに向けた職員様向けの勉強会など現時点までに実施されたものはございますでしょうか。可能でしたらその内容なども参考までにお教えてください。</p> <p>②研修について、参加される方は選定された5業務に従事されている職員様のみでしょうか。選定された業務で人数は変わるかと思いますが、1研修何人程度を想定されていますでしょうか。</p> <p>③研修について、研修会場として四国中央市様の会議室など四国中央市様が所有する会場を無償利用することは可能でしょうか。もし可能な場合、最大収容人数は何名でしょうか。</p>	<p>①DXに関する職員研修を令和4年度に3回実施しました。主な内容はDXの基礎やデータ利活用に関するもので、幹部職員や各部署のDX推進担当職員が参加しました。</p> <p>②市と受託者が協議のうえ決定します。</p> <p>③市の会議室を無償利用することは可能です。どの会場を使用するか決定していませんので、最大収容人数についてはお答えいたしかねます。</p>
10	<p>実施要領の3頁9(4)④ 題名「業務実績調書(様式6)」について</p>	<p>①再委託にて実施した自治体様向けの業務を含めてよろしいでしょうか。</p> <p>②業務実績に再委託にて実施した業務を含む場合、企画提案書に再委託である旨を明示する必要がありますでしょうか。</p>	<p>①再委託にて実施した業務は含めません。</p> <p>②上記①のとおりです。</p>